

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 2月 15日

【評価実施概要】

事業所番号	3671600165
法人名	有限会社 双葉
事業所名	グループホーム 琴葉
所在地	徳島県阿波市市場町市場字岸ノ下201-1 (電話) 0883-36-8128

評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成20年 2月 11日

【情報提供票より】(平成20年1月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 6 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤11人, 非常勤3人, 常勤換算	1ユニット6.6人 2ユニット6.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費6,000円、管理費2,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,000円			

(4) 利用者の概要(1月16日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名		
要介護3	5 名	要介護4	6 名		
要介護5	4 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.3 歳	最低	72 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	・阿波病院
---------	-------

徳島県 グループホーム琴葉 1

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームは、静かな田園に立地し、周辺には総合病院、大手スーパーなどもあり恵まれた場所にある。近くの土手には四季折々の花が植えられ、散歩コースとしても適しており、外出時に利用者の気分転換を図る上でも良い環境にある。利用者と職員の和やかな雰囲気が漂い、ひだまりのデッキで食後のひとときが過ごされコミュニケーションが図られている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前は改善課題であったが、全面介助の必要な方に声をかけをしたり、表情を見て利用者に添った支援の取り組みがされていた。排泄支援について利用者のペースに合わせ、プライドを傷つけない支援ができていた。注意の必要な物品について明文化されていた。会議録・研修内容の報告はされているが、確認印・サインがなく改善に至っていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で取り組み、評価の意義とねらいについて理解され作成されている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2カ月に1回開催されている。参加者は市担当職員、住民代表、利用者、利用者家族等で構成され、ホームの理念、入居状況、活動状況、意見交換、ホーム内の見学などしてもらい、これらをふまえて、日々のサービスの質の向上と、地域でその人らしく生活するケアに取り組んでいる。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ホーム便りや家族の来訪時に暮らしぶりや近況が伝えられ、家族が意見を気軽に言える雰囲気作りができています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入できるよう働きかけているが、入会までには至っていない。しかし、地域の清掃には積極的に職員が参加したり、祭りの御輿もホームに立ち寄ってくれるなど、近隣、ボランティアの方、また、外出の際に花屋や、豆腐屋にも立ち寄り話しができる関係作りができています。</p>

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく生活することを支えるケアとして、事業所独自の理念が作られている。	<input type="checkbox"/>	
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のミーティングで理念を共有し、目くばり、気くばり、心くばり、そして笑顔を基本に実践に向けて日々取り組まれている。	<input type="checkbox"/>	
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入できるよう働きかけているが、加入するまでには至っていない。しかし、地域の清掃や、祭りの際に御輿がホームに立ち寄ってくれるなど、地域との交流は積極的に取り組まれている。	<input type="checkbox"/>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、全職員で自己評価に取り組み作成されている。また、前回の評価結果の改善に向けて計画を立て、話し合いをしながら改善に取り組まれている。会議録、研修内容の報告はされているが、確認印、サインがなく改善に至っていない。	<input type="checkbox"/>	確認印、サインの仕組み作りに取り組まれたい。
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されている。参加者は市担当職員、住民代表、利用者、利用者家族等で構成されている。会議録もあり職員にも回覧し、内容は共有されていて意見をサービス向上に活かしている。しかし、会議録への職員の確認印、サインはされていない。	<input type="checkbox"/>	会議録への職員の確認印、サインの仕組み作りに取り組まれたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当職員と常に連携がとられ、相談したり担当職員がホームに来たり連携が取られている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には声かけや、利用者について状況や暮らしぶりが伝えられている。変化が起きた時は、すばやく報告もされている。金銭出納帳にも家族の確認印があった。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に意見を気軽に言えるように取り組まれている。出された意見を検討してサービスの質の向上に反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動があった場合は引継ぎ等を十分に行い、利用者には不安やダメージをあたえないよう、スムーズに移行できるように配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の質の確保に向け、研修には積極的に参加し、報告もされている。しかし回覧した報告書への全職員の回覧印がされていない。	○	回覧された報告書への確認印・サイン等の仕組み作りが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流の必要性を認識し、他事業所との交流を働きかけ取り組まれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームを見学してもらったり、家族と十分に話し合い納得した上で、相談の時点から利用に至るまで、利用者が馴染みながら利用できるよう支援されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から「豆」の煮方や、野菜づくり、漬け物の作り方などを人生の先輩から学び、共に支え合う関係が築かれている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で声かけをし、意向の把握に努めている。把握が困難な方に対しては、家族から話しを聞くなどし、利用者の視点に立った取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画について、利用者の視点に立ち話し合いが行われ、利用者、家族の意向やその人の思いが反映された計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な期間での見直しと、状況の変化に伴い実情に即した見直しがされ、現状に即した計画が作成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日々変化していく中で、要望に応じて通院や外出など臨機応変に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望に添ったかかりつけ医とは、その都度柔軟な支援や相談できる関係作りができています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族、利用者、職員、医師等と方針の共有がされ、ターミナルケアの受け入れも行い取り組まれている。同意書も整備されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシー確保について、職員の意識向上を図る取り組みがミーティングの折にされている。秘密保持の徹底も図られている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	遠足や外食などを計画する時には、計画の段階から利用者に参加してもらい、望みを知ることが大切にし、希望に添った支援がされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に育てた野菜を食材に取り入れられ、利用者と職員と一緒にテーブルを囲んで楽しく食事がされている。また、希望のメニューを取り入れるなど献立も工夫されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に合わせた入浴の支援がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の意見や要望を聞きながら花見や買い物など外出の機会をとらえて、気晴らしの支援がされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に添って、散歩や近所の豆腐屋、園芸店への買い物など、日常的に戸外に出かける支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	徘徊される方がおり、事故防止のため玄関に鍵をかけている。	○	利用者の実態を把握するなど検討し、鍵をかけない取り組みが望まれる。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練のマニュアルや記録があり、訓練も実施されている。運営推進会議で自治会にも協力をお願いする呼びかけがされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスについては、デイサービスの栄養士に定期的にチェックしてもらっている。食事、水分摂取量についても記録し把握されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には鉢植えなどがおかれ、木目調のイスも置かれていてゆったり過ごせるような配慮がうかがえる。ホールにはソファが置かれ、畳のコーナーにはホームゴタツも置かれていて居心地よく過ごせる工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には冷蔵庫やテーブル、イスが持ち込まれ、一人ひとりの利用者が居心地よく安心して過ごせるよう工夫されている。		